

# 第19回東京女子医科大学消化器病臨床フォーラム プログラム

## 「高齢者や合併症を有する high risk 患者に対して 外科治療はどこまで行えるか？」

### — 術前評価の役割と周術期における外科治療成績 —

日時 平成18年3月22日(水) 19:00~20:30

会場 東京女子医科大学病院 総合外来センター5階大会議室

当番世話人・司会 消化器外科 竹下 信啓 先生

#### 開会のご挨拶

19:00~19:05

東京女子医科大学 消化器外科 教授 喜多村 陽一 先生

#### 講演

19:05~20:15

#### A. 術前評価法とその役割—麻酔科の立場から—

##### 1. 総論 「high risk 患者の術前評価と周術期管理」

東京女子医科大学 麻酔科 平崎 裕二 先生

##### 2. 各論 「high risk 症例周術期管理の実際」

東京女子医科大学 麻酔科 教授 野村 実 先生

#### B. 高齢者及びに合併症を有する high risk 患者に対する周術期外科治療成績

##### 1. 胃切除術

東京女子医科大学 消化器外科 山田 卓司 先生

##### 2. 腸切除術

東京女子医科大学 消化器外科 今井 健一郎 先生

##### 3. 開胸・開腹術

東京女子医科大学 消化器外科 武市 智志 先生

##### 4. 肝切除術

東京女子医科大学 消化器外科 高橋 豊 先生

##### 5. 膵頭十二指腸切除術

東京女子医科大学 消化器外科 鬼澤 俊輔 先生

※演題名は、変更させて頂く場合がございます。予めご了承ください。

#### 情報提供

20:15~20:25

#### 外科感染症での免疫グロブリン療法に関するエビデンス

ZLB ベーリング株式会社 医薬マーケティング本部 井村 博和

#### 閉会のご挨拶

20:25~20:30

東京女子医科大学 消化器病センター 所長 高崎 健 先生

尚、本フォーラムは「日医師涯教育講座 3 単位」に認定されております。

共催：東京女子医科大学 消化器病センター

ZLB ベーリング株式会社

後援：(財)中山がん研究所

(NPO)消化器癌研究基金